



高輪だより

令和7年度7月号
港区立高輪幼稚園
園長 佐々木勝世

わくわく ぽかぽか
みんなえがおの
たかなわようちえん



ウェルビーイングの実現を目指して

高輪幼稚園では園の経営方針として、幼稚園に関わる全ての人のウェルビーイング*の実現を掲げています。保護者の皆様には、4月の保護者会でお伝えしましたが、特に子どもたちのウェルビーイングについては、5歳児が本園を修了するときに、以下のことを実感し、自ら実践できるようになってほしいと思っています。

- みんなが笑顔になれることを考え、実現するのは楽しい。
- 困ったことがあっても、身近なことは自分たちで変えられる、解決できる。
- 一人ではできないことでも、仲間と考えを出し合い、力を合わせればできる。

園では先日、『高輪子どもまつり』を開催しました。当日は雨天にもかかわらず、園内の子どもたちだけでなく、地域の保育園児、未就園児にもたくさん遊びに来ていただき、大盛況でした。

5歳児は、おまつりに向けて、どんなお店をしたら自分たちが楽しいか、お客さんにも喜んでもらえるかを考え、準備を進めました。準備を進めていく中では、困ったこともありましたが、でも、同じグループの友達と考えを出し合い、力を合わせてお店を完成させて、おまつりは大成功のうちに終わりました。まだ1学期の取組ですから、もちろん先生の援助もたくさん必要でしたが、今後自分たちでやりたいことを考え、実現していく（＝ウェルビーイング）ための素地となる貴重な経験ができました。

3、4歳児は、お客さんとしておまつりを楽しみました。そのときだけの幸せではなく、5歳児がやさしく声を掛けてくれたこと、自分たちのためにしてくれたことは、ずっと長く心に残ります。日々の生活においても、5歳児はあこがれのモデルとなって、3、4歳児はまねをしたり、頼りにしたりするようになります。3学年が互いに**関わり合い育ち合うようになれば、まさに園全体が「持続的に幸せな状態」と言えます。**

おまつりでは、保護者のご協力もたくさんいただきました。お子さんと一緒にお店を回ってもらったり、お店を担当していただいたり…。おかげさまで子どもたちの笑顔あふれるおまつりとなりました。おまつり後のアンケートでは、お子さんの笑顔や成長が見られてうれしかったというお声をたくさんいただきました。ありがとうございます。本園はこれからも「わくわく ぽかぽか みんな笑顔」になる、様々な取組を推進してまいります。

園長 佐々木 勝世

*ウェルビーイングとは
身体的・精神的・社会的に幸せな状態。短期的で個人的な幸せではなく、より包括的で個人を取り巻く「場」が持続的によい状態であること。



おまつり当日、たくさんのお客さんに来ていただきました。



5歳児が店員役となって、お客さんに楽しんでもらいました。



2階保育室の保護者のお店も大盛況でした。

高輪幼稚園では、子どもたちの生活の様子や、その中にある「学び」について、積極的に発信しています！

【ホームページ】 <https://takanawa-kg.minato-tky.ed.jp>

【X（エックス）】 <https://x.com/takanawakg>



ホームページ



X エックス